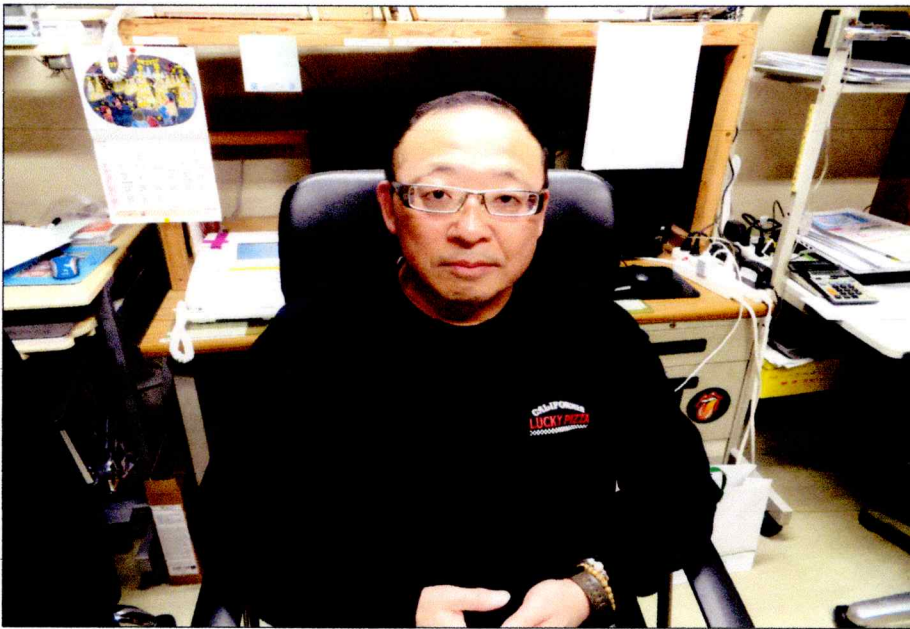




新年号

第二地連新聞

第二地連・議長
台東支部
原田輝高

任長	議長	責連	行地	発第
掃合連	宣教	連責	集地	編第
二	二	二	二	二
東	京	清	京	東
労	働	組	働	労
第	二	地	二	第

2026年1月5日
第102号

2026年新年おめでとうございます。第二地連内の組合員とそこご家族の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶びを申し上げます。

年末年始作業においては、各職場で作業された組合員の皆様に心から感謝いたします。

昨年、10月21日、高市政権が自民党と維新の連立政権として発足しました。高市首相は、私たち国民が物価高騰で苦しんでいるにも関わらず、国民が納得のい

く物価高騰等に対する対応をしていますが。また、台湾有事になれば、集団的自衛権を行使可能な「存立危機事態」になりえると発言をしています。こうした戦争のできる国づくりを目論む今の政権を許してはなりません。

25賃金確定闘争では、昨年の改定額を大幅に上回り、課題としていた中高年齢層の引上げは実現したものの、物価高騰を上回る引上げには至りませんでした。しかし、新たな業務職給料表については、行政職給料表との関係性を見直した上で、目標としていた制度値における再任用月例給との逆転現象を解消させるとともに、単純平均では現行業務職給料表から平均10.4%の賃金水準を回復した給料表を実現しました。

「魅力ある賃金・人事制度」の構築は、今後の交渉がより重要になります。本部交渉はもとより、各区・地連からの追い上げもさらに強化し、我われが望む制度を確立しなければなりません。

地連として、コロナ禍前と同様に、ボウリング大会、ヘラブナ釣り大会、バーベキュー大会のレクリエーションを行い、参加人数含めて多くの組合員・家族が集まり、成功裡に終了してきました。更に、「学習と交流」を基軸とした一泊学習会を開催し、地連内での情報の共有化・繋がり等を強化してきました。

今年も一泊学習会やボウリング大会をはじめとしたレクリエーション等、「学習と交流」を基軸に運動を進めていきます。私たちを取り巻く

情勢は、車付き雇上の拡大や退職者不補充の関係で会計年度任用職員の対応等となっている厳しい状況にあります。昨年、荒川区・北区・文京区・台東区で新規採用を勝取ることができました。これはこの間の、職場からの闘い成果であります。単年で終わらせるのではなく、地連内全支部で継続的な新規採用を勝取って行くことが、住民生活に密着した質の高い公共サービスができます。

第二地連として、地連内各支部の情報の交換・共有化をはかり、地連の組織強化、働く者の生命と権利、生活を守り、定年まで安心して働き続けられる職場を確立していかなければなりません。その為にも、4区5支部（北工場支部建替え中）が丸となり、様々な取組みをして

いきます。
最後に、今年は午
年です。第二地連の
運動が、「前進」
「飛躍」「発展」の
年となるよう活動を
していきます。組合
員・ご家族のご協力
をお願いします。
今年一年どうぞよ
ろしく願います。

文京支部 組織部 飯田 雅俊

第二地連の仲間の
皆様、あけましてお
めでとうございま
す。
文京支部で組織部
をやっています、飯
田です。
昨年、地連活動では
宿泊学習会や青年部
のレク活動など様々
な活動を通じて横の
繋がりの強さをあら
ためて実感しまし
た。中には初めて参
加する若手が多く、
みんなで集まって活

動すること、連帯感
や楽しさなど感じ取
れるような非常に有
意義な地連活動だっ
たと思います。これ
からも文京支部は積
極的に参加していき
たいと思いますの
で、今年も引き続き
よろしく願います。

職場では昨年、4
名の新規採用を獲得
しており、職場の雰
囲気も変わり部活動
なども活発に動いて
おります。活気ある
職場を守りつつ、新
規採用獲得を引き続
き継続して行きたい
と思います。

今年、文京支部で
は合同庁舎になり、
また作業計画の変更
など、課題がありま
すが、支部一丸とな
り、この問題から、
いい方向に向かうよ
う団結して取り組ま
ないと考えておりま
す。
今後とも直面してい
る課題はこの支部
もあると思います

が、本部、地連と連
携し、強く取り組ん
で行きたいと思いま
すので、本年も文京
支部をよろしく願
います。簡単では
ありますが、支部を
代表として挨拶とさ
せていただきます。
皆様ともに頑張りま
しょう。



台東支部 副執行委員長 瀧澤 幸広

第二地連の皆さ
ん、新年あけまして
おめでとうございま
す。台東支部副執行

委員長の瀧澤幸広で
す。

昨年は、コロナ禍
前の取組みと同様
に、ボウリング大会、
釣り大会・パー
ベキュー大会のレク
活動に支部組合員・
その家族が多く参加
しました。そして宿
泊学習会にも支部組
合員が積極的に参加
し、「学習と交流」
をすることが出来ま
した。レク活動や宿
泊学習会の内容を聞
いた組合員は「来年
は参加したい」と話
していました。

25賃金確定闘争で
は、若年層に重点を
置きつつも、中高年
年齢層においては、昨
年を大幅に上回る引
上げとなりました
が、物価上昇分にも
追い付かない引き上
げでありました。今
後は、大幅な賃上げ
を獲得する為、更な
る取組みの強化をし
ていくことが、求め
られています。
3年連続での新規採

用を勝取り、更に昨
年10月に4名の採用
があり、現在17名の
青年部で学習と交流
を基軸に様々な取組
みを行っています。
支部の中心を担う気
持ちがありありと見
受けられます。

定年延長が始ま
り、定年前後も安
心して働き続けられ
る職場づくりを確立
していくことが必要
です。

最後に第二地連内
全支部が団結し、頑
張っていきましょ
う。

今年も宜しく願
い致します。



北支部 執行委員長 高栄 勝

新年あけましてお
めでとうございま
す。

昨年を振り返り思
い出されるのは、猛
暑日が記録されるほ
どの酷暑の日が続い
た夏の作業が思い出
され、我が支部でも
熱中症対策に迫われ
た年でもありまし
た。

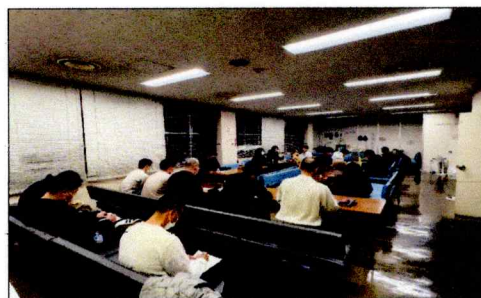
昨年、北支部では7
名の新しい仲間が加
わる事になりました
が、彼らにも厳しく
辛い夏であったと思
います。

25賃金確定闘争で
は、ご存じのよう
に、技能・業務系職
員の賃金・人事制度
の総合的、抜本的見
直しを勝ち取り、賃
金の底上げを図った
新業務職給料表につ
いても決断させる事
となりました。それ
に伴った全年齢層で
賃金の引き上げと一

時金の支給月数増が実施された事は組合員のモチベーションにも繋がりました。しかし、上がり続ける物価の高騰には依然として追いつけておらず、全組合員が安心して生活していけるとはほど遠いものに感じます。

我が支部にもさまざまな課題があります。同様に各区にも課題を抱えているとは思いますが、交流を通じて情報を共有し問題解決に向けて、全支部、全組合員一丸となって頑張っていくべきです。

本年も宜しくお願いします。



荒川支部

執行委員長
佐藤 修一

新年あけましておめでとうございます。

荒川支部で執行委員長をしています佐藤修一です。

清掃事業が東京都から特別区に移管され「清掃事業の将来のあり方」が当局から一方的に出されて以降、支部として検討や見直しを求めています。この間、荒川支部は新規採用のない状況が続いてい

ましたが、荒川区の清掃事業を継続して行うため、3年連続の新規採用職員を獲得することができました。今年度についても若干名ではあります。新規採用を獲得することができました。既に職員数は23区で一番少なく50人程になってい

ます。会計年度任用職員の力を借りないと日々の作業が回せない現状です。支部の課題でもある、あと7年もすると職員数が大幅に激減します。荒川での体制を維持していくためには今後も職員の確保が必要で、引き続き、当局に対しても清掃事業を直営で行う必要性を強く訴えていきたいと思っております。定年まで安心して働ける職場を目指し荒川支部、今年度も組合員一丸となって課題・問題点を引き続き粘り強い交渉で闘いを進め

ていきますので、今年もどうぞよろしくお願いします。



第二地連青年部

議長
鈴木 淳

新年あけましておめでとうございます。青年部第二地連議長、台東支部の鈴木です。

昨年大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。引き続き安全作業を徹底して私たちの「生命と権利」を守り抜いていきます。

昨年は、荒川支部の仲間が役員ではな

いですが、役員会議に加わり、より一層綿密な支部間の情報交換や意識の共有を図り、役員内の知識や感覚のアップグレードをすることが出来ました。レクリエーション活動については第二地連新人歓迎学習会を開催し、第二地連原田議長を講師としてお招きし、地連の基礎知識を深め、地連内4区4支部の横のつながりを強化しました。「学習と交流」を基軸として青年部活動を進めていきますが、今年は、『学習』に力をいれて取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年は午年です。ダートを駆ける馬の様に、力強く活動して行きたいと思

います。まだまだ、感染症等流行っていますが、

健康に気を付けて、共に頑張っていきたいと思います。今年もよろしく願い致します。

